

2020年度 自己評価（教職員編）の結果及び改善策

I 「保育の計画性」についての評価結果及び改善策

- ・年間計画を元に年齢や日々の子供の成長に合わせ保育計画をたてられている。異年齢クラスとの連携もとれていると思う。
- ・日常の預かり保育や長期休暇中の預かり保育では、子どもたちが楽しめる活動を事前に計画するようにしている。
- ・担任の先生からの週案を参考にその時その時に、子どもたちとの必要な関わり方を考え、安心して過ごせるよう配慮するようにしているが、全体の中でどこまでの線引きがいつも迷ってしまう
- ・年度始めに立てた年間の保育計画がどのようにすすめられているか、毎月見直して不足しているところを補って行く機会が必要。
- ・担任の計画に従い保育を行なっている。担任不在で自分が主となって保育を行う場合は、その時々々の個々の成長に合わせた大まかな計画を立てるが、その日の天候や子どもの体調や機嫌によって計画を変更するなど柔軟に対応している。
- ・赤ちゃんの発達に即して、その時期にあったタイムテーブルを組んで下さっています。1人1人の様子を見て、様々な配慮を持って考えられていると感じます。
- ・年齢にあった指導計画立てているが目の前の子供達に合ったものに再構築し一年間を通したねらい、目標は常に考える様にする。また日々の保育の反省を生かせるように考えている。
- ・園の教育理念、教育目標の理解という点では身につけていると思っておりますが、日々の保育の中で全職員の共通理解がとても重要だと感じています。細かな連絡の取り合いや話し合いを大切にしたいと思っております。
- ・あらかじめ保育に入る前に保育内容を確認し、配慮する点など確認しています。
- ・クラスの月案・週案予定の目標に対してアドバイス等を受け、様子を確認しながらサポート出来るように取組み、考えて意識するように努めています。・実際の保育に理解出来ない事が多いので、反映出来るように学んでいきたい。
- ・キリスト教保育の理解を深め保育計画をするように心がけたいと思う。
- ・園の教育理念や、クラス担任の方針を踏まえた上で子どもと関わるようにしている。その中で、関わりや言葉がけ等で失敗することも多く周りの先生方の援助の仕方を参考にしていきたい。

II 「保育の有り方、幼児への対応」についての評価結果及び改善策

- ・保育者としての言葉や対応が自分自身できているのか今一度一人一人が再確認していくべきだとおもう
- ・園全体で、優しい雰囲気がありとても良いと感じている。
- ・支援の必要な子との関わりが中心になるなかで、親も子どもも安心して、楽しく過ごせるを1番に考えて関わりを持つようにしている
- ・日々の振り返りの中で子どもひとりひとりの対応について共通理解ができるよう心がけるようにしている。保育者間で相談、意見交換しながら質の高い保育が進められるよう日頃から意識していくようにする。
- ・担任や他の保育者の対応を見習いながら、月齢や年齢、個々の成長・特徴・個性をとらえ、それに合わせた丁寧な対応を心がけている。対応に苦慮したり疑問を感じた時は、すぐに担任や主任に相談し解決するように努めている。今後も日々の振り返りと反省により成長したい。
- ・担任の先生を始め、保育者の皆さんが笑顔で赤ちゃん達に接しています。それがとても良い雰

困気となり、多少困った事が出てきても、皆さんで相談し解決策を生み出せているのも、心強いです。

・小さい幼稚園なので各クラスの保育者がクラスの枠にとらわれずどの子へも関わり対応している様子はとても良いと思っている。そのためにも日頃から互いの保育を参観しあったり子供への共通理解を持ち意見交換しあえるように努めたい。

・幼児理解や子どもへのかかわりについては担任や他の保育者との意見や情報交換を大切にしながら連携をとることを常として幼児への対応に当たるようにしている。

・子どもと色々な気持ちを共感し、個々の良さを理解できるように関わるようにしています。

・幼児の言葉や様子から気持ちをよく理解するように心がけ対応していきたい。

・事故、ケガをさせないように心がけています。人数確認を重く受け止めています。人命尊重。

・担任の先生が役割分担等明確に指導してくれるので、他の先生方と共有しながら言葉や気持ちを大切に接するように心掛けている。

・子供たちへの声掛けがうまく出来ていないので、もっと上手くなれるように努力したい。

・これからも幼児理解を深め見通しをもって対応するよう努めていく。

・玩具を出す際には月齢に合っているかどうかの再確認が必要だと感じた。また、保育者が遊び方を見せたりして月齢に合わせた遊びの発展を促せるよう心がけていく。

Ⅲ 「保育者としての資質と能力」についての評価結果及び改善策

・日々の保育をしっかり反省、改善ししっかり子供の気持ちを受け止められているか大人の都合やイライラをぶつけていないか本当に子供のためになっているのかを考えていきたい。

・言葉の表現や、対応の仕方のレパートリー、音楽関係の技術(歌やピアノ)など、能力向上に努めたい。

・今まで関わってきた子から、学び教えてもらったことを大切に、その経験を今の保育に生かせるように、また押しつけにならないよう、一人一人に合った関わりをするように今後も常に意識していきたい

・安心して過ごすことができるよう、とにかく愛情をたっぷり注いで、まるごと受け止めることが一番大切だと考え、日々保育にあたっている。保育者間の関係が良ければクラスの雰囲気も自然とよくなり、あたたかくやわらかい空気が子どもにも伝わるため、チームワークを大事にし、密に情報を共有したりユーモアを取り入れながら楽しいクラス作りを心がけている。感染対策に関しても、国の方針に沿ってマニュアルを作成、周知し、全職員で除菌・消毒を徹底して行うことができている。また、おたよりを配布して健康に関する情報を発信したり、園児の健康・体調の管理や把握、衛生用品の管理等、看護師としての責務に努めている。

・1日の大半を、親御さんから離れて過ごす赤ちゃん達が、穏やかに楽しく生活出来るように、と心に置いています。資質や能力は分かりませんが、気持ちの中では、赤ちゃん達が笑顔で！を1番に考えています。

・子供たちとの関わり一番大事に考え、今向き合っている子供に何が必要か柔軟にかかわり共に喜び子供の気持ちを一緒に感じられる保育者でいたい。

・自分の仕事や保育だけに気をとらわれず経験が浅い保育者に対し、手助けや話し合いを心がけチームとして保育が円滑にすすむようサポートする立場であることを心がけていきたい。

・全体をしっかりと見られるように視野を広く持ち、常に保育を振り返り反省するようにし次の保育に生かすようにしています。

・それぞれの個性に合わせた保育ができるように心がけたい。

・心にゆとりを持って仕事と生活のバランスを考えながら生活する事を心掛けています。

・自分の意見を積極的に話す事は少ないが、「報・連・相」をしっかり小さい事でも伝える努力をした

い。

・担任の先生が専門的知識や気づいた事等を指導してくれるので働きやすい環境で楽しい。ゆったりとした気持ちで子どもと向き合い、色々な角度からこどもを観察し理解し、日々研鑽するよ

う努める。

・初めて経験する0歳児クラスでは、日々の成長スピードに驚いたり、立った、歩いた、お返事ができたなど、一人ひとりの成長していく姿を見るたびに喜びを感じている。今後も小さな変化や些細なことも保育者間で伝え合い成長を見守っていききたい。

IV 「保護者への対応」についての評価結果及び改善策

- ・保護者の立場となりしっかりこどもの成長を伝えたり不安をやわらげられる対応を心がけたい
- ・バスの添乗では、その日の活動に加えて子ども個人個人の姿も併せて伝えられるように努めている。
- ・今年度はほとんど会う機会がなかったが、園で安心して楽しく過ごす子供の様子から、保護者が安心して子供を円に通わせてくれたらとの思いの中で過ごしてきました
- ・行事や生活のきまりなど協力や理解をしていただけるように丁寧に説明し、どんなことでも気軽に話していただけるよう「開かれた姿勢」で接していくように心がけた。クレーム等があった場合は速やかに園長に報告、相談し慎重に対応するようした。
- ・今年度は新型コロナウィルスの影響で、園児の送迎時に保護者が園内に入ることが出来ず玄関でのやり取りにとどまっていたため、昨年度より丁寧に園での様子を伝えた。保護者への対応の際も、理解していただけるよう配慮し、信頼関係を築いていきたいと考える。
- ・保護者の皆さんと直接お話する機会は、多くありませんが、送迎時などでお会いする時には、その日の出来事など親しみを持っていただけるような内容でお話するよう、気を付けています...が、まだまだ上手くお話出来ません、努力します。
- ・保護者の気持ちによりそい誠実に対応したいと思っている。それぞれの子供と同じように保護者対応もその保護者に合った対応を考えている。
- ・担任との共通理解をしっかりと持った上で保護者に不安や不信感を与えないよう気を配って関わりたいと思っている。
- ・保護者の話を確実に担任の保育者に伝えるようにしています。丁寧に誤解を生まないような言葉を選び、保護者と接するようにつけています。
- ・保護者の質問など丁寧に答えるようにしたい。
- ・直接、保護者との関わりは少ないので誰に対しても笑顔で挨拶する事を心掛けている。
- ・保護者の話をよく聞き真意を感じとれるように努めている。また、伝え方は最も慎重に考えコミュニケーションをはかっている。
- ・勤務時間の都合上、保護者の方々とお会いする場面はないが、日頃から一人ひとりの姿をしっかりと見て担任に伝えていく。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての評価結果及び改善策

- ・自然を保育に取り入れられるよう研修していきたい
- ・園外との関わりについて考える機会がまだ少ないので、今後検討していきたい。
- ・散歩や外遊びのなかで季節の移り変わりなど感じられるように働きけるようにしているがその他は中々難しいので今後先生たちと話し合い考えていきたいと思う
- ・コロナ禍で子育て支援事業の実施が難しく計画通りに進まず残念な年であった。子育てに疲れているママたちの応援できる場所を、気軽に遊びにくることができる解放されたあそびの場所を今後は提供できるよう努めていきたい。
- ・散歩で外に出た時に葉っぱや石、天候などについて、声にして伝えるように意識している。すれ違う人にも積極的に挨拶をするようにしている。特に高齢の女性は笑顔になり話しかけて下さる方も多く、短時間ではあっても地域の方と関わる機会を大切にしている。
- ・お散歩では、季節を感じる事が出来、赤ちゃん達と葉っぱや花に触れて楽しむ機会が多いです。

図書館など近隣の施設へも行き、地域の方々に会う機会もあり、これからも活動の中で、楽しんでかかわっていけると思います。

・今年度は特に社会とのかかわりが持ちにくい年ではあったが、地域の自然は担任が近くの海の四季を見せたいという考えで、出かける機会が多かったので子供達に伝えることができたと思う。

・季節ごとに咲く花、木の実など、お散歩中に話題にしたり触れることができるようにしています。

・散歩に出ると地域の方々から声を掛けられる事が多いので、挨拶を交わして丁寧に対応する事を心掛けている。

・園外に出かけることも多く、交通ルールや挨拶、マナー等に気を配っている。また、草花の名前を調べたりしながら周りの自然に目をむけるようにしている。

・散歩に出かけた際には地域の方への挨拶等を心がけている。活動時間が短いため遠くに出かけるということは難しいが、その中でもいつもと違う道を通ってみたり興味のある場所を探するなどして園外での活動を楽しめるようにしていく。

VI 「研修と研究」についての評価結果及び改善策

・研修や研究をしっかりできるよう代休などしっかりしたサポートをしてもらいたい。日々の保育に加え休日の研修で疲労が蓄積しないよう改善してほしい

・各種研修会にしっかり参加し知識を深めたい。

・自分の思い込みにならないよう、他の先生たちの話しにも十分耳を傾け、保育に関する本なども読む時間を多く持つようにしていきたいと思う

・今年度は研修会に参加する機会が非常に少なかった。リモートによる研修は不慣れなこともあり、消極的になり、参加を見合わせる事が多い1年に、なった。できれば来年度は、園内研修などで職員間で互いに学び合える機会を持てたらと思う。

・今年度はベビーマッサージについての勉強を深めセラピストの資格を取得し、毎日の保育に取り入れ子どもたちにも喜ばれている。今後も自己研鑽を続けていきたい。

・今年9月に子育て支援の研修に参加させて頂きました。改めて、聖ルカで働く先生方の大変さを感じ、また、聖ルカの良さも感じられました。子供達の為の一助になれるよう、努力したいです。

・今年度はコロナ感染のため難しかった。

・研修を受ける機会が無いが、自らも出来ることもあると思うので、特に食育に関する研究に取り組みたいと思う。

・あまり研修会に参加は出来なかったのですが、保育の本を読んだり、自主的に研究に努めたいと思います。

・研修会などは、積極的に参加したい。

・コロナ禍の中で研修の機会があまりなかったので来年度など研修があったら積極的に参加したい

・研修に参加する機会は今もないのですが、自己学習、文書や本を読むなどして保育に活かす事が出来るように取り入れていきたい。

・コロナの影響で研修会の機会はなかった。研修は自身の能力、視野を広げるためにも積極的に参加したいと思う。

・今年度は研修等に参加できていないため、自分から時間を見つけて自己学習する必要がある。